

2023年1月31日

東京都知事 小池百合子殿

東京都とファイザー社の連携協定に反対する意見書

薬害オンブズパーソン会議

代表 鈴木利廣

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-14-4

AM ビル 4 階

TEL.03-3350-0607 FAX.03-5363-7080

yakugai@t3.rim.or.jp

<http://www.yakugai.gr.jp>

意見の趣旨

東京都とファイザー株式会社（日本法人）との福祉・保健医療分野における連携協定に反対する。東京都は速やかに連携協定を解消すべきである。

意見の理由

- 1 東京都は、令和4年12月、ファイザー株式会社（日本法人、以下「ファイザー社」という）と福祉・保健医療分野における連携協定を締結した。

連携項目は以下の6項目である¹。

- (1) 共同調査に関すること
- (2) 子どもの健やかな成長に関すること
- (3) 健康増進に関すること
- (4) 医療に関すること
- (5) 人権に関すること
- (6) その他、地域社会の活性化及び都民サービスの向上等に関すること

東京都は、連携・協力により、地域社会の発展と都民サービスの更なる向

上を図っていくとしている。

- 2 しかし、ファイザー社は、新型コロナウイルスワクチンを初めとする各種の医薬品を製造販売している企業であり、福祉・保健医療分野の政策如何によって医薬品の販売量が左右される立場にある。従って、著しい利益相反があり、ワクチンや治療薬を過大評価した偏った政策が採用されかねない。

そもそも東京都の業務には、製薬企業を監視、指導することも含まれており（薬機法1条の3）、製薬企業は監視指導の対象でもある。その対象となる特定の企業との連携協定は、東京都の福祉・保健医療行政の中立性及び公正性を著しく損うものであり、明らかに不適切である。

東京都は、昨年、ファイザー社の取締役執行役員炎症・免疫部門長である宮原京子氏を東京都教育委員会委員に任命しており、今回の連携協定はこれに続くものであり、異常という他はない「癒着」である。

当会議は、宮原氏の東京都教育委員会委員任命について反対する意見書を公表しているが²、東京都とファイザーとの福祉・保健医療分野の連携協定についても、強く反対する。東京都は、すみやかに連携協定を解消するべきである。

以上

¹ 東京都福祉保健局

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/joho/soshiki/kansen/keikaku/oshirase/renkeikyoutei.html>

² 薬害オンブズパーソン会議

ファイザー執行役員の東京都教育委員会委員任命に反対する意見書

https://www.yakugai.gr.jp/topics/file/Pfizer_yakuin_tokyouikuin_ninmei_hantai_ikensho2.pdf